

●○○シンポジウム2012●○○

BIMで設計、教育は変わるのか？

— BIMとインターネットを活用した設計コンペからみえたこと

BIM とインターネットによる設計コンペ「BLK 2011」(Build Live Kobe 2011) には、多数の設計実務者や学生のチームが参加し、3次元 CAD ソフトや解析ソフト、さまざまなコラボレーションツールなど、BIM とインターネットを活用した設計行為がなされた。

本シンポジウムでは、コンペ参加者と教育者、設計実務者等とのパネルディスカッションを通して、BIM により設計、教育の何がどのように変わるのかを議論する。

主催 日本建築学会 情報システム技術委員会 設計・生産の情報化小委員会

後援 IAI 日本

日時 2012年2月17日(金) 13:30～17:00 ← 終了時間が当初の17:30から変更になりました。

会場 大阪大学中之島センター10階 佐治敬三メモリアルホール
(大阪市北区中之島4-3-53)

【プログラム】

司会：玉井 洋 (鹿島建設)

●主旨説明 : 猪里孝司 (小委員会主査/大成建設)

●話題提供「BIM による設計コンペ事例」(7題)

芝浦工業大学、神戸大学、大林組、前田建設工業、ビム・アーキテクトほか

●討論「BIM により設計、教育の何がどう変わるのか」

衣袋洋一 (芝浦工業大学)、遠藤秀平 (神戸大学)、福田知弘 (大阪大学)、山下純一 (IAI 日本)、中元三郎 (安井建築設計事務所)、内田公平 (鴻池組)

●まとめ : 能勢浩三 (竹中工務店)

定員 140名 (当日会場先着順)

参加費 会員 1,500円、後援団体会員 2,000円、会員外 2,500円、学生 500円
*当日、会場受付でお支払いください。

問合せ先 猪里孝司 (大成建設) E-mail : izato@arch.taisei.co.jp